

百田義治先生への献辞

百田 義治先生は、2019年2月に古希を迎えられ、2019年3月末をもって駒澤大学を定年退職されます。

百田先生は、同志社大学商学部から同志社大学大学院商学研究科に進学され、同博士課程を単位取得退学後、1981年4月に駒澤大学経済学部にて専任講師として着任されました。1985年に助教授、1993年に教授とられました。先生の御担当科目は、主として、企業経営学や経営学基礎でした。このほか、ビジネス事例研究、トップ・マネジメント講座、東京税理士会による寄付講座など、先進的な教育を実践されました。

学務においては、2001年～2003年には、駒澤大学経済学部商学科主任、2003年～2007年には駒澤大学大学院商学研究科委員長、2009年～2013年には経済学部長（兼理事・評議員）を務められました。先生が学部長を務められた時期は、駒澤大学も難しい課題を抱えていました。百田先生は学務において、駒澤大学と経済学部にも多大な貢献をされたと言えます。

百田先生は、学会においても大きな功績を挙げられました。1998年から今日まで、日本経営学会理事をたびたび務められました。そして、2016年9月からは日本経営学会理事長として、学会を代表されています。さらに労務理論学会でも、2003年～2006年には常任理事を務められました。日本比較経営学会でも、2014年～2017年に理事長を務められました。

百田先生の御研究は、経営学のなかでも、企業の社会的責任あるいは企業倫理に関わる研究が中心となっています。その成果は、『社会から信頼される企業—企業倫理の確立に向けて—』（編著、中央経済社、2004年）や、『企業社会責任の研究』（編著、中央経済社、2008年）となっております。

先生は退職されても、変わることなく、研究に励まれることでしょう。健康に留意されて、今後ますます研究を発展させ、その成果を世に問い、私ども後進を導いていただけるよう祈念いたします。

経済学部長 代 田 純